

2023 年度 シラバス

科目名 学級経営・学校経営特論(R5 認定通信)	単位数 4 単位	担当教員 大隅 心平
テキスト (1) 浜田博文編著(2019),『学校経営』,ミネルヴァ書房 ISBN-10:4623085031 (2) 白松賢(2017),『学級経営の教科書』,東洋館出版社 ISBN-10:4491033412		
科目の概要 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の「一体的充実」など学級経営、学校経営の今日的な課題をとらえ、教育目標の達成を目指す組織的計画的な運営及び学びの場における相互関係の形成について理解する。学びの場における相互関係は、「主体的対話的で深い学び」を通じて、これからの時代に求められる「資質・能力」を育成する基盤である。一人一人の自立と成熟を支える集団の形成と維持・向上に求められる知識・技能・態度について理解し、学びの基盤を構築する組織運営の観点から学級経営・学校経営について考察する。		

I 科目の目的・ねらい

1. 集団の維持・向上に求められる知識・技能、実践力を通して、学びを支える相互関係について考察する。
2. 学校における教育指導の基礎単位である「学級」の組織と運営について理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の基盤となる相互関係(集団)の形成を構想する。
3. 教育ビジョンの実現をめざす組織マネジメントの課題をとらえ、教育組織の一員として、学校経営参画に係る実践力を身に付ける。

II 授業計画と評価

- 第 1 回 学びの土壌を耕すー子供たちの現状と相互関係形成の課題ー
 - 第 2 回 学級経営・学校経営の諸課題ー教育組織の運営と改善ー
 - 第 3 回 学級の組織と運営ー学級集団形成の要件ー
 - 第 4 回 相互行為システムとしての学級ー学級における「秩序」「自治」「学習」ー
 - 第 5 回 相互関係における規範意識ー学級の規範構造と道徳教育ー
 - 第 6 回 学級集団と自治的实践力ー学級における合意形成と特別活動ー
 - 第 7 回 学びに向かう集団の形成ー滝による「生徒指導」モデルを基盤としてー
 - 第 8 回 自立と成熟を支援する学級経営ー「個別最適な学び」と「協働的な学び」をめぐってー
 - 第 9 回 学校の組織的特性と経営参画ー教育活動における「個業」と「協働」ー
 - 第 10 回 組織運営のPDCAサイクルー組織運営の課題と学校評価ー
 - 第 11 回 教育課題と組織マネジメントー教育活動の組織的基盤ー
 - 第 12 回 学級経営:学校経営の事例分析ー「チーム学校」の実践と課題ー
 - 第 13 回 新しい学校運営ー「コミュニティ・スクール」の構想と実際ー
 - 第 14 回 自校における相互関係形成の構想ー教育の構想と具現化ー
 - 第 15 回 学びの土壌を耕すーこれからの学級経営・学校経営ー
- 科目修得試験

評価については、レポート 50%、科目修得試験 50%の割合で行う。

Ⅲ 参考文献

- (1) 熊井将太(2014),『学級経営論の教育方法学的検討—学級経営の再評価をめぐる国際的動向』,山口大学教育学部研究論叢第 63 巻
- (2) 樋口修資(2017),『学校組織運営論からみる「チーム学校」の批判的考察と教員のワークライフバランスの実現』,明星大学教育学部研究紀要第 7 号
- (3) 蓮尾直美・安藤知子編(2013),『学級の社会学・これからの組織経営のために』,ナカニシヤ出版